

～釜山の観光客の安全は「釜山観光警察隊」にお任せください！～

下関市総合政策部国際課  
(釜山広域市派遣職員)

大江 敏彦

海外旅行の旅行先では、その土地に不慣れな観光客をターゲットとした大小様々な犯罪に巻き込まれる可能性が高くなっています。例えば、スリ、置き引き、料金のぼったくり、医療観光を装った無資格者による不正治療など、枚挙にいとまがありません。国際的な観光地としての知名度が上がり観光客が集まる観光地ほど、そのようなリスクが高まるのは、程度の差こそあれ、どこの国でも同じような傾向を示しているのではないのでしょうか。

韓国では、そのような観光客にまつわるトラブルに対応するため「観光警察隊」がソウル、仁川、釜山の3都市で勤務しています。このうち、釜山地方警察庁観光警察隊の沈載勲(シムジェフン)隊長にお話を伺いましたので、紹介いたします。

観光警察隊とは、その名のとおり、国内外からの観光客に関連する様々な事件を横断的に取り扱う、守備範囲の広い警察官です。主な役割としては、被害に遭った外国人観光客の保護、簡易な通訳や観光情報の提供などの観光客の不便の解消、主に外国人観光客を狙った不正行為や犯罪の予防が挙げられます。さらに、外国人による犯罪の予防、取締りにもつながっています。何よりも、観光警察として巡回、捜査、指導することにより、犯罪や不正行為への抑止力となり、旅行者に対する安心安全への効果が大きいようです。

朴槿恵大統領の指示により設立された隊で、3つの省庁のコラボレーションによって事業が推進されています。文化体育観光部(「部」は日本の「省」に相当)が総括として予算や事業計画などを担当し、警察庁が職員などの人的提供と運営を行い、行政自治部が周辺環境の整備を担当し、活動拠点などの提供や整備などの地方自治体への協力要請を行う体制をとっています。現在、英語、日本語、中国語などの外国語が堪能な35名の精鋭隊員が所属し、行政、巡査、捜査、情報の専門分野に分かれて業務を行っています。隊長からは「釜山での滞在に責任を持って対処いたします。もし、被害に遭ったら釜山観光警察隊へご連絡ください。誠心誠意、親身に対応しますので、安心して釜山へお越しください。」との心強いメッセージもいただきました。

釜山観光警察隊は、海雲台エリアでは午前11時から午後11時まで、チャガルチ市場を含む国際市場界隈では午前9時から午後8時まで、観光客が多く集まるエリアを中心に巡回を行っており、観光客の安全確保に努めています。釜山(韓国)での旅行中に困ったことがあれば、下記の番号へご連絡ください。

☆釜山観光警察隊 051-899-3076

☆コリアトラベルホットライン

局番なしの1330 (日本からかける場合は、+82-2-1330)

音声案内に従い、日本語は3番です。

